

令和4年度 横浜市泉区社会福祉協議会 事業方針

新型コロナウイルスの感染拡大・長期化は、地域活動を停滞させ、地域のつながりが薄くなり、助け合いや見守りを困難にしています。また、外出の機会が失われることにより、身体的な機能の低下を招くだけでなく、意欲や生きがいなど生活の張りの喪失につながりかねません。

近年は、ひきこもり、孤立死、虐待、貧困など従来からの目につきにくい課題も増えつつあり、また、急速な少子高齢化など、社会構造の変化は、あらゆる分野で地域社会の担い手を減少させ、地域のつながりや支え合う力も低下している現状があります。

こうした状況だからこそ、住民にとって一番身近な地区社会福祉協議会（以下、地区社協）においても安全に継続的に交流や通いの場づくりが進められるように、様々な工夫を凝らして、意識と目標を一つにして取り組むことが求められます。

これらの課題に対応するため、地域全体が抱える課題や個々に感じる生活のしづらさや困りごとなど、制度の狭間にある課題に目を向け、かつ住民同士の「地域のつながりと支え合い」を基本とした活動をもっと広げていくことが本会の役割と言えます。

また、本会の会員であるさまざまな組織や団体が連携・協働し、それぞれが持つ機能・役割を活かして、支援体制を強化する必要があります。

昨年度策定された第4期 泉区地域福祉保健計画「泉わくわくプラン」（以下、「泉わくわくプラン」）では、互いに助け合い、誰もが安心して暮らせるまちづくりを基本理念として、地域活動を重視したものであり、今年度は推進の2年目にあたります。実効性を高めるため、具体的な「評価指標」を設定し、さらに地区ごとの特徴を活かした「地区別計画」も策定されました。多くの区民の参加が得られるようにするためのPR動画も完成し、今後計画の浸透を図る必要があります。

以上のことをふまえ、「泉わくわくプラン」の重点項目に沿って、本会が進めていくべく【重点取組】を設定します。

【重点取組】

1 自分らしく生きるための支援

援助を必要とする高齢者や障がい者が安心して日常生活が送れるよう支援します。

また、サービスを提供する担い手の育成や障がい者理解の働きかけを進めます。

2 元気でいるための支援

地区社協をはじめ各種団体の活動が活発に継続できるよう、また新たな分野の立ち上げを支援します。

3 地域の安全をみんなで考える

区内の災害に備えたネットワークの充実と新たなコーディネートシステムの構築も視野に入れた「災害ボランティアセンター」の体制強化を図ります。

4 相談しやすい仕組みづくり

区社会福祉協議会（以下、区社協）が持つ機能（ボランティアセンター、あんしんセンター、移動情報センター、生活福祉資金貸付支援、助成金・地域活動支援）が横断的に連携し、「断らない相談支援」に努めます。

5 困りごとを支援につなげることができる人を増やす

地域の困りごとを解決できる地域づくりのため、地区社協や地区民生委員児童委員協議会（以下、地区民児協）と連携し、個別の課題にも向き合い、地域福祉の推進に努めます。

6 一人ひとりに寄り添った支援から地域の課題を考える

住民同士の「支え合い活動の創出・継続・発展」に向けた支援や「交流・居場所」「生活支援」「見守り・つながり」づくりを進めます。

7 参加する人を増やす

地域活動に参加するきっかけ作りとして、地域情報や活動に関する情報をさまざまな媒体を活用して発信します。

8 担い手を増やす

広く地域、学校、企業等に視点を置いて迅速な相談・調整に努め、地域の福祉活動の担い手の発掘や育成に努めます。また、活動への参加のきっかけづくりができるよう各種ボランティア講座を開催します。

9 つながる機会を作る

さまざまな施設、団体や企業が参画でき、多くの人との交流の輪が広がる機会をつくれます。

10 事業推進に向けた組織運営の充実・基盤強化をはかる

区社協の取組を積極的に周知するとともに「組織のガバナンス強化」「事業の透明性確保」「財務規律の強化」「人材育成」を進め、区民の期待や信頼に応えます。新しい生活様式の導入と効率化を目的に、これまで行ってきた業務の見直し、改善に努めます。

■ 事業計画

この事業計画は、前述の事業方針と重点取組に基づいて、第4期泉区地域福祉保健計画推進の柱及び重点項目に連動させ策定しています。

また、主な事業の予算額を表示（令和4年度予算額[令和3年度予算額]）しています。

1 いつまでも健やかに暮らせる地域づくりを支援する

重点項目1-1 自分らしく生きるための支援を進める

《個人の権利と尊厳を守るための仕組みづくり》

(1) 認知症に対する正しい理解と見守り活動の推進

認知症になっても安心して自分らしく暮らせることができる地域の実現を目指し、認知症の正しい理解を広げ、支援する担い手を増やします。

【取組事項】

- ① 区、地区社協、地域ケアプラザ等と協力した、地域や企業等への認知症を理解するための講座等の開催支援
- ② 「泉区認知症キャラバンメイト連絡会」への参画と協力支援
- ③ 「チームオレンジ」の推進支援を通じた認知症の人が自分らしく安心して暮らせる地域づくりの推進
- ④ 認知症カフェ・介護者の会等の活動支援及び必要な居場所づくりの推進

(2) 権利擁護事業（あんしんセンター）

312千円 [350千円]

高齢者や障がい者の財産や権利を守り、安心して日常生活が送れるよう相談・契約によるサービスを行います。また、判断能力の低下に伴い成年後見人に速やかに移行できるように区や地域包括支援センターと協力し、泉区成年後見サポートネットや社会福祉士連絡会の場等を利用して連携を図ります。また、市民後見サポートネットを開催し横浜市市民後見人バンク登録者（泉区登録者）との連携を進めます。

	R1 実績	R2 実績	R3 見込	R4 見込
権利擁護事業契約件数（件）	47	47	43	47
当年度契約数（件）	11	10	7	12

評価指標 権利擁護事業新規契約件数：増加
権利擁護事業から成年後見への移行：増加
成年後見に関する相談件数：継続

(3) 送迎サービス事業（移送サービス・外出支援サービス） 2,914千円 [2,938千円]

外出が困難な在宅の高齢者・難病患者に対し、通院、福祉施設、行政等での手続きなどの際の送迎支援を行います。現在、外出を支援する福祉有償運送事業者は本会以外にも大幅に増加しています。また市内タクシー各社も乗降のしやすいUD タクシーの導入を進めており、移動に制約のある方にも外出しやすい環境が整ってきました。

一方、就労する高齢者の増加等「担い手」確保が困難となりボランティアによる事業自体に見直しが求められてきました。

こうした背景を受け市内18区社協で検討を重ねた結果、当該事業の運営について終了に向け調整していきます。

	R1実績	R2実績	R3見込	R4見込
送迎サービス事業利用件数(件)	877	288	200	200
登録者数(人)	105	95	89	85

《サポートが必要な方々の理解と支援の推進》

(1) 移動情報センター事業

9,643千円 [8,952千円]

障がい児者の通学通所や通院、余暇活動等外出機会の移動手段に関する情報収集・発信、相談調整、人材発掘・育成を行います。また、事業を通じて把握した障がい児者の困りごとを地域住民と共有し、障がい児者やその家族が安心して暮らせる地域づくりを進めます。

	R1実績	R2実績	R3見込	R4見込
ガイドボランティア登録件数(件)	30	41	39	45

【取組事項】

- ① 推進会議の開催
- ② 区内ガイドヘルパー事業所との連携による人材育成に関する検討
- ③ ガイドボランティア講座の開催及びボランティアの確保・養成
 - ア 区ボランティアセンターや関連機関等と連携し、ニーズのあるエリアを重点にガイドボランティアを拡充します。また、登録者や関心のある方を対象に、講座を開催します。
 - イ ガイドボランティア交流会を通じフォローアップします。
- ④ 地区担当職員と連携した地域で暮らす障がいのある人の困りごとに寄り添う地域づくりの推進
- ⑤ 自治会町内会、地区社協、泉区障害福祉自立支援協議会、関係団体への事業のPR活動を実施
- ⑥ 障がい児者やその家族の思いに寄り添った相談支援スキルを向上させるための職員内部研修を開催

評価指標 ガイドボランティア登録者数：増加
 障がい理解・担い手育成のためのボランティア講座実施回数・参加者数：増加
 (出前講座含む)

(2) サポートが必要な人への理解の推進

211千円 [310千円]

【取組事項】

- ① 「障害者週間」や区内の施設や団体などの活動について周知するため、また障がい者への理解・啓発の推進のために泉区福祉の作品展を開催
- ② 障がい理解・啓発を目的に、区内施設等の利用者やその家族、職員と協力し、セイフティーネットプロジェクト横浜出前講座を実施
- ③ その他

障害者地域作業所等通所者の社会参加を促進するため、広報紙の一部配付業務を障害者地域作業所等へ委託します。また、地域にある障害者地域作業所等の取組みが区民に広く伝わるよう、ホームページの活用など啓発にかかわる支援を行います。

重点項目 1-2 元気でいるための支援を充実させる

《介護予防・健康づくりの推進》

(1) それぞれの年代に応じた健康づくり

いつまでも健康な生活をおくることができるよう、健康づくりの取組みを進めます。

【取組事項】

- ① 地域で行われる高齢者食事会、サロンやウォーキング事業等への支援
- ② ふれあい助成金（健康増進区分）を活用して自治会町内会やボランティアグループ等が実施する健康づくり・介護予防活動を支援
- ③ 横浜市で展開している地域活動や地域サービスの検索サイト「ヨコハマ地域活動・サービス検索ナビ」を通じた区内外の健康づくりに関係する情報発信

評価指標 ふれあい助成金（健康増進区分）による活動団体数：増加

重点項目 1－3 地域の安全をみんなで考える

《安心・安全に暮らせる環境の整備と推進》

(1) 災害対策の充実・強化

80 千円[80 千円]

災害時への備えを通じて平常時から互いに支え合える地域づくりを進めます。また、泉区災害ボランティアセンターの機能が充分果たせるよう、泉区災害ボランティア連絡会や関係機関・団体との協力体制を構築し、災害時に備えたネットワークづくりと啓発活動に努めます。

【取組事項】

- ① 全市的に進めている ICT を活用した情報システム構築の動向を踏まえ、災害ボランティアセンターの円滑な運営体制の検討
- ② 泉区災害ボランティア連絡会の運営・活動支援
 - ア 連絡会運営強化のため、運営委員会の定例開催
 - イ 連絡会会員をさらに拡充するため、関係機関への啓発
 - ウ 連絡会の活動を支援するため、助成金を交付
- ③ 泉区災害ボランティア連絡会など関係機関と協力し、区民ホールでの展示会等各種イベントにおける災害ボランティアセンターの機能や防災減災に関する啓発活動の実施
- ④ ブロック別災害ボランティアセンターネットワーク連絡会への参加
- ⑤ 災害時に備えた地域防災拠点など関係機関・団体とのネットワークの強化
- ⑥ 災害ボランティアセンター立ち上げに備えた備蓄品や資機材の整備
- ⑦ BCP（事業継続計画）を更新し、災害時の事業実施体制を強化

2 人やさまざまな活動でのつながりや交流が進む地域づくりを支援する

重点項目 2－1 相談しやすい仕組みを整える

《断らない相談支援の推進》

区社協では、事業ごとに相談窓口を設置しています。それぞれの役割・機能を活かし、地域の様々な相談を受け止めます。相談内容によっては、区社協内の相談窓口同士が連携し、他の専門機関につなぐなど一体的な対応をします。

継続的なかわりが必要な場合は、相談者にとって身近な地域内の多様な主体とも連携し、新たな生活課題への対応を含め「地域共生社会」の実現を目指します。

また、ホームページ、リーフレットや掲示板等で、相談対応内容など情報提供を行

っていきます。

本会の相談窓口

- ・ 泉区ボランティアセンター
- ・ 泉区社協あんしんセンター
- ・ 泉区移動情報センター
- ・ 生活福祉資金貸付相談
- ・ 善意銀行寄付相談
- ・ 泉区福祉保健活動拠点利用相談
- ・ その他 地域福祉活動全般に関する相談

重点項目 2-2 困りごとを支援につなぐことができる人を増やす

《支援者のスキルアップ・対応力向上》

(1) 地区社協活動の支援

6,280千円 [7,500千円]

身近な地域のつながり・支えあい推進事業を進めながら、地域支援方針や地区社協のてびきに基づき、地区社協の目的である「一人ひとりの困りごとを解決できる地域づくり」を推進できるよう支援します。引き続き、コロナ禍に配慮した地域活動の実践例を紹介する等、地区社協の活動支援も進めます。また、各地区に担当職員を置き、地区社協の運営や事業の実施等を支援します。

【取組事項】

- ① 地区社協分科会の定例開催（隔月開催）
- ② 地区社協（区域）研修の開催、地区研修の開催支援
- ③ 地区社協のてびき研修の実施
- ④ 地域アセスメント、地区診断の実施
- ⑤ 「泉わくわくプラン」地区別計画に連動した地区社協活動の推進
- ⑥ 地区社協状況書作成支援から地区社協の活動を把握し対外的に発信
- ⑦ 区社協賛助会費への理解促進
- ⑧ 地区社協活動の広報活動
- ⑨ 地区社協活動費の交付
- ⑩ 市域情報の発信、情報共有と検討
- ⑪ チャリティーコンサート（共催：区社協・12地区社協・区）の見直しについて検討

(2) 民生委員・児童委員との連携

地域における身近な相談役である民生委員・児童委員、主任児童委員とともに、地域の課題解決に向けた取組みを進めます。民生委員児童委員分科会の開催や、地区民児協定例会への参加により、地域福祉推進のパートナーとしての連携を深めます。

また、一斉改選により新たに委嘱された委員への支援に努めます。

(3) 生活困窮者自立支援施策への対応

3,154千円 [3,153千円]

生活困窮者自立支援法において、生活福祉資金貸付事業や総合相談、区生活支援課との連携を通して支援に取り組めます。特に、新型コロナウイルス感染症の影響により生活に困窮した世帯などの新たな生活課題に対し、関係機関や民生委員・児童委員と連携しながら支援していきます。

① 生活福祉資金貸付事業相談

貸付の種類 総合支援資金、臨時特例つなぎ資金、緊急小口資金、福祉資金（教育支援資金等）、不動産担保型生活資金、特例貸付（緊急小口資金・総合支援資金）、その他

教育支援資金等の概要や相談傾向を、泉区児童支援専任教諭・生徒指導専任教諭協議会において共有し、個別の課題を支援する存在を増やします。

② 食糧支援

生活困窮者や緊急的に食糧支援が必要な方に対しては、区と情報共有し、株式会社セブン・イレブン・ジャパン（以下、セブンイレブン）やフードバンクかながわ等と連携して自立に向けた支援を実施します。

重点項目 2-3 一人ひとりに寄り添った支援から地域の課題を考える

《地域課題の抽出と課題解決に向けた取組みの検討》

(1) 身近な地域のつながり・支えあい推進事業

50 千円 [190 千円]

様々な生活課題を抱えている地域住民に寄り添い、地域活動者・福祉保健関係者や多様な主体とより連携し、つながりや支えあいづくりを推進します。

【取組事項】

- ① 区内の住民同士の助け合い活動団体の立ち上げ支援を推進し、団体同士の連携体制を進め、担い手育成や地域での見守り体制の構築を推進
- ② 区・包括カンファレンス等への参画し、個別・地域課題の継続的な把握を行いながら課題を抱えた住民と地域とのつながりづくりを推進
- ③ 「新しい生活様式」を取り入れた新たな見守り活動や交流の提案
- ④ 地区社協のてびき研修の内容を地域住民や関係機関と共に理解を深め、一人ひとりの困りごとを地域で受け止めながら解決を目指せる地域づくりを推進

(2) 生活支援体制整備事業

200 千円 [200 千円]

高齢者の生活支援・介護予防の充実のため、区、地域ケアプラザ、地区社協、自治会町内会、ボランティア団体、施設や企業など、多様な主体との連携により、担い手の発掘と育成や新たな活動を創出します。また、地域包括ケアシステム構築に向け「泉区アクションプラン」とも一体的に推進していきます。

【取組事項】

- ① 区と協働して区レベル協議体（支えあいの仕組みづくりを進める会議）の開催や各地域ケアプラザの協議体の開催に向けた支援
- ② 第2層生活支援コーディネーター連絡会を開催し、状況に応じてオンラインでの会議・研修を取り入れながら各エリアの状況把握と全区的な取組課題の検討
- ③ 横浜市で展開している地域活動や地域サービスの検索サイト「ヨコハマ地域活動・サービス検索ナビ」を通じた区内外の健康づくりに関係する情報発信【再掲】
- ④ 地域活動に取組む団体等をフォローするための研修会を開催
- ⑤ 地域貢献事業「泉サポートプロジェクト」が、企業やNPO法人等も含めた多様な主体との連携による推進に向けた支援

区域及び各エリア別の取組みを集約し、課題解決に向けた検討を進めます。議論を進める場として検討会を設置し、取組みの目的をより効果的かつ具体的に進めて行きます。また、課題の1つである事業の周知啓発を目的に、検討会を中心に啓発媒体の作成に取組みます。

3 地域活動への参加が活発になる地域づくりを支援する

重点項目3-1 参加する人を増やす

《地域活動に参加するきっかけ作り》

(1) 地域情報や活動に関する情報発信

広報媒体や内容に応じて事業間での連携を図り、効果的な情報発信を行います。

【取組事項】

① 「区社協だより泉」の発行（年3回）

地域住民が自分たちの暮らすまちに関心を持つきっかけとなるよう、地区社協やボランティア団体の活動、区社協の事業などの情報を発信します。タウン紙の活用や障害者地域作業所等への配付業務委託を行います。

② ボランティア向け情報「キラぼら泉」の発行（年3回）

地域で活動しているボランティアについて紹介し、ボランティア活動の促進につなげます。

③ 「ボランティアセンター通信かわら版」の発行（年2回）

ボランティア講座やボランティア募集、ボランティア活動について掲載し、区内のボランティア活動の活性化につなげます。

④ 「ボランティアセンター通信ジュニア版」の発行（年1回）

子どもや学生にボランティアや地域の活動に関心を持ってもらえるよう、若い世代に向けて発行します。作成にあたっては、区内の学生にアイデアを募るなど工夫をします。

⑤ 区社協ホームページの活用

地域情報や活動に関する情報を広く発信できるよう、区社協ホームページを積極的に活用し、誰もが情報にアクセスしやすく利用しやすいホームページづくりをすすめます。また、施設やボランティア団体の活動紹介や講座・イベントの情報を掲載できる「地域イベント情報」の活用を本会会員向けに案内します。

⑥ 移動情報センター通信の発行（年1回）

⑦ 泉区民ふれあいまつり等に参加し、区民への啓発活動

⑧ 善意銀行（寄付金品の受付、配分）の運営とパンフレットによる周知活動

⑨ 区社協リーフレットの改訂

(2) 第36回泉区社会福祉大会の開催

福祉活動功労者に対する顕彰及び「泉わくわくプラン」の周知をはじめとした区民への福祉啓発事業を実施します。

重点項目3-2 担い手を増やす

《活動を継続していくための支援》

(1) 活動継続のための支援

100千円[100千円]

ボランティア活動継続のために各種情報提供や、ボランティア・団体間の交流やつながりを支援します。

【取組事項】

① 泉区ボランティアネットワークの運営・活動支援

- ア 泉区ボランティアネットワーク運営委員会の定例開催
- イ 泉区ボランティアネットワーク各部会の開催支援
- ウ 泉区ボランティアフォーラムの開催支援
- エ 泉区ボランティアネットワークの活動を支援するため、助成金を交付

(2) 泉区福祉保健活動拠点「泉ふれあいホーム」の運営 16,891千円[16,267千円]

世代や障がいの有無に関わらず市民の自主的な福祉保健活動に「活動の場」を提供することにより、福祉活動の推進を図ります。また、利用団体相互の交流や情報の提供を積極的に行い、単なる活動の場の提供にとどまらない「福祉活動の裾野を広げる」ことを目的とした福祉保健活動拠点の運営に努めます。そして、より多くの方に福祉保健活動に関心をもってもらうため、ボランティアセンター事業としてボランティア講座を行うなど工夫しながら取組みます。

[指定管理期間：R3.4.1～R8.3.31]

	R1実績	R2実績	R3見込	R4目標
登録団体件数(件)	250	237	242	250
利用実績(延べ件数)	2,139	1,115	1,645	2,000

【取組事項】

- ① 窓口や電話での問い合わせ、利用登録団体懇談会などを通じて、利用者ニーズの把握に努め、拠点やボランティアセンターの運営に反映
- ② ホームページによる福祉保健活動拠点の情報発信、情報提供
- ③ 夜間及び土日祝日の稼働率向上を目的とした広報活動の実施
- ④ ボランティア講座や研修会を実施し、人材発掘を推進
- ⑤ 開かれた施設を目指し、指定管理者第三者評価を受審

(3) 泉ふれあい助成金・福祉の泉助成金 11,437千円[11,914千円]

身近な地域の支えあい活動や障がい当事者活動、住民主体の活動を推進するため「泉ふれあい助成金」及び「福祉の泉助成金」を通じた活動支援を行います。また、備品等整備や常設支援拠点の仕組みを改正し、継続的な活動の支援とともに、助成金の新規活用を促進します。

	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
助成団体数(件)	185	167	144	150

評価指標	ふれあい助成金交付事業の交付団体数・担い手数：継続 ふれあい助成金交付事業の参加者数：増加
------	--

《新たな担い手の発掘・育成》

(1) ボランティアセンターの運営 904千円[904千円]

ボランティアや地域住民の活動に関する様々な相談に応じ、地域福祉活動を担う人材確保・育成のため、テーマ別・対象別などのボランティア講座を移動情報センター等と連携し実施します。また、活動の継続のために既存のボランティアのニーズを把握し、それに合わせたフォローアップを行います。

学生のボランティア活動への関心や参加を促進し、活動の継続を図るため、学生に向けた情報発信や講座の開催、相談、フォローアップを強化します。

【取組事項】

- ① ボランティア講座の開催及び活動支援
 - ア ボランティア入門講座の開催
 - イ 学生のためのボランティア講座の開催
 - ウ 関係機関等とのボランティア活動分野別、エリア別講座の開催
 - エ 住民同士の助け合い活動の支援
 - オ ガイドボランティア講座の開催
 - カ 傾聴ボランティア養成講座の開催支援
 - キ ボランティア担当者向け講座の開催
- ② ボランティア相談の実施
 - ア ボランティア登録の相談・受付
 - イ ボランティア保険の受付

評価指標 各種ボランティア講座の実実施回数・参加者数：増加

(2) 担い手と地域活動のコーディネート

区民からの相談に対して、ボランティア団体、施設等のネットワーク機能を活かしニーズに合った活動を紹介します。また企業・NPO法人・学校等と地域との関係性を構築し地域活動への参加促進を支援します。障がいがある方への社会参加についても、関係機関と連携し支援していきます。地域への情報の共有やニーズの把握は、地区担当職員とも連携しながら取組みます。

インターネットや動画編集などが得意な担い手とボランティア団体等をつなぎ、団体内のオンライン会議や「新しい生活様式」によるボランティア活動の支援を行います。

【取組事項】

- ① ボランティア相談・コーディネートの実施、ボランティアの活動支援
- ② ボランティア登録者の更新、アンケートの実施
- ③ 地区担当職員と情報を共有するために、エリアごとに登録者やケースの情報を整理
- ④ 「人財バンク」の情報更新（区民活動支援センターとの協働事業）

重点項目 3-3 つながる機会を作る

《様々な人との交流の推進》

(1) 地域の中でより多くの人との交流を進める

40千円[10千円]

【取組事項】

- ① 泉ふれあいシールラリーの共催（共催：区、泉区障害福祉自立支援協議会）

障害福祉サービス事業所などがある多様性に富んだ泉区の魅力を広く周知します。障がいのある人たちの活動場所に地域住民が足を運ぶきっかけとし、関係機関・団体と連携しながら、障がいの理解へつなげます。
- ② ジュニアボランティア活動の機会（福祉イベント、共同募金街頭運動など）を提供
- ③ 介護フェア開催協力（主催：泉区老人福祉施設長研究会）

(2) 福祉教育

139千円[139千円]

様々な分野のボランティア体験がおこなえるようサマースクールのプログラム内容を充実して取組みます。また、区内の学校等に向け、福祉教育相談のPRを行い、学びが深まる授業を共に検討していきます。

【取組事項】

- ① 学校、企業、地域住民等を対象に、障がいや高齢者理解等の福祉教育(啓発)を実施
- ② 小中高生対象「サマースクール2022」(福祉体験学習)の実施
- ③ 泉区児童支援専任教諭・生徒指導専任教諭協議会や学校長会での情報提供、学校との連携強化
- ④ 地区担当職員と連携した福祉教育(啓発)の実施
- ⑤ 「福祉教育サポーター」(学校等での福祉教育研修・講座の支援ボランティア)の拡充・活動支援

評価指標 福祉教育の実施件数・参加者数：増加

サマースクール実施件数・参加者数：増加

《関係機関同士の連携強化》

(1) 子どもの支援

子どもの健やかな育ちの支援として、子育て中の孤立感の解消などを目的に地域における子どもの居場所づくりや子育てを応援します。

【取組事項】

① 子育てネットワークへの参加

ア 泉区子育て支援連絡会・子育てサークルリーダー研修会・子育てサロン連絡会の事務局として、区、子育て支援拠点すきっぷとともに子育て中の親子支援の検討、研修会を実施します。

イ 地域ケアプラザエリアの子育てネットワークに参加し、エリア内の子育て課題の検討、支援を行います。

② 子ども食堂や対象者を限定しないサロン等の居場所づくり支援

JA 横浜、セブンイレブン等の企業と連携して食を通じた地域づくりを進めます。

③ 区内関係機関との区内の子どもの状況についての情報共有

区やスクールソーシャルワーカー、その他子どもに関わる事業を展開する団体等と連携し、子どもの置かれている状況について情報共有を進めます。また、地域住民と協力しながら子どもの健やかな育ちを支援します。

④ 泉区児童支援専任教諭・生徒指導専任教諭協議会や横浜市西部地域若者支援連絡会等と連携し、個々の課題をもつ子ども・若者支援の地域理解を推進

(2) 地域ケアプラザ地域活動交流コーディネーターの支援

90 千円[90 千円]

地域住民の福祉活動を支援する地域活動交流コーディネーターを支援するため、連絡会を開催し、研修会や勉強会等を行います。また、社会の状況に応じてオンラインでの会議・研修を取り入れます。

(3) 泉区障害福祉自立支援協議会への参画

協議会や部会等に参加・協力を行い、障がいのある人やその家族を取り巻く現状について情報把握します。その情報を地区支援や区社協実施事業を進めながら、地域へ伝えていきます。また、地域の取組みを協議会等でフィードバックします。

(4) その他

本会の強みである、会員組織としてのネットワークを活かし、関係団体・機関の連携を促進します。

4 社会福祉協議会活動・法人運営

(1) 「泉わくわくプラン」推進に向けた取組み

区との共同事務局により推進し、地区別計画は各地区の地域支援チームを中心とした関係機関と連携し推進していきます。

また、計画周知のために作成した区内 12 地区の地区別計画活動 PR 動画の周知と活用に取り組めます。

(2) 社会福祉法人の支援

社会福祉法の改正に伴い、社会福祉法人が公益性、組織管理・財務規律の強化などが求められていることを踏まえ、本会会員である社会福祉法人・施設の取組みを引き続き支援します。

(3) 公益性の高い社会福祉法人としての適切な組織運営

① 理事会、評議員会、評議員選任・解任委員会の開催

② 各種部会、分科会の開催

③ 各種委員会の開催

ア ボランティアセンター運営委員会 イ 広報編集委員会 ウ 助成金配分審査委員会

④ 計画的で透明性の高い業務執行、法律や規程に基づいた適切な事務・経理処理

⑤ 会員及び賛助会員の募集と会費の有効活用

⑥ B C P（災害時の業務継続計画）の適宜、見直し

(4) たすけあい福祉資金給付

火災・風水害等を受けた罹災世帯に見舞金を交付します。

(5) 行路病人への支援

行き倒れや行き場のない方への緊急措置として一時金を支給します。

(6) 訪問理美容サービス事業

在宅の要介護者などに対して理美容師による出張サービスの受付と紹介をします。

(7) 関係団体の事務局機能

地域で活動する各種福祉団体の事務局を担い、活動を支援します。また、各団体の活動を広報し、理解啓発に努めます。

【各団体の活動内容】

① 神奈川県共同募金会泉区支会

赤い羽根共同募金・年末たすけあい募金運動を実施し、区内および県内の福祉施設や障がい者団体、ボランティア団体等の活動支援を行います。

② 日本赤十字社神奈川県支部泉区地区委員会

日本赤十字会員増強運動、災害救護事業・災害救護に関する活動の推進、災害義援金の受付、地域福祉活動への助成を行います。

③ 泉保護司会

犯罪予防活動や処遇活動の推進、各協力組織との連携や社会貢献活動への支援を行います。

④ 泉区更生保護女性会

保護司と協力して「社会を明るくする運動」の推進、共同募金（街頭募金）への参加、研修会の開催、子育て支援などを行っています。

- ⑤ 泉区更生保護協会
更生保護活動の周知・啓発や「社会を明るくする運動」の推進に伴う各事業を行います。
- ⑥ 泉区遺族会
戦没者遺族の相互扶助および福祉増進に努めるとともに恒久平和に貢献します。